

配布資料

全報 7-1, 2023年度地区大会について

2023年度地区大会を下記のとおり開催いたします。詳細は決まり次第、共有させていただきます。

最後の地区大会へご参加・ご登録をよろしくお願いいたします。

※会員は地区大会への参加は必須となります。

<開催スケジュール>

地区	日程	開催地	主管
北海道・東北地区	調整中	岩手開催	岩手県連合会
北信越地区	11月18日(土)	長野開催	長野第二支部
関東地区	10月29日(日)	神奈川開催	神奈川県連合会
中部地区	10月22日(日)	静岡開催	静岡県連合会
近畿地区	10月28日(土)	大阪開催	大阪・兵庫連合会
中四国地区	11月12日(日)	島根開催	島根第一支部
九州・沖縄地区	10月21日(土)	大分開催	大分県連合会

<基本スケジュール>※開催地により若干の変更がございます。

時間	内容	対象
12:30~13:00	受付	
13:00~13:30	新入会員セミナー	入会予定者
13:40~14:00	受付	
14:00~14:30	全国古民家再生協会	
14:30~15:00	事例発表1	
15:10~15:40	事例発表2	
15:40~16:10	パネルディスカッション/講演 etc	
16:10~16:30	その他	
17:00~18:30	交流会(懇親会)	

2023年度も全開催地へ参加された方(一般社団法人全国古民家再生協会 会員のみ)は、グランドスラム賞として2024年度全国大会にて表彰をさせていただきます。

登録等に関しては、準備が出来次第共有させていただきます。

配布資料

全報 7-2, 議連・省庁レク開催報告

下記の通り、古民家再生議員連盟（自民党）古民家再生議員懇話会（公明党）ならびに各省庁レクを開催させていただきました。

○古民家再生議員連盟（自民党）

日時：2023年6月16日（金）12時から13時

場所：自民党本部会議室

内容：空き家等管理活用支援法人について（国土交通省）

古民家を活用した宿泊施設の普及啓発について（観光庁）

古材の安心・安全を確保するための制度の導入について（環境省）

登録有形文化財を後世に残すファンド創設に関して（文化庁）



○古民家再生議員懇話会（公明党）

日時：2023年6月15日（木）17時から17時30分

場所：参議院議員会館会議室

内容：空家等管理活用支援法人の制定について（国土交通省）

農地付き空き家の活用促進についての後押しについて（農林水産省・国土交通省）

空き家古民家の有効活用→宿泊施設への転用、DIY型賃貸借予算確保（国土交通省）



配布資料

○省庁レク

日時：2023年6月15日（木）から6月16日（金）

場所：TKPカンファレンスセンター内幸町

内容：文化庁（登録有形文化財の制度概要について）

環境省（環境省における古材リユース促進に関する取組について）

観光庁（古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくりに関する観光庁の取組）

中小企業庁（地域・企業共生型ビジネス導入・創業促進事業）

総務省（地域おこし協力隊 及び地域運営組織について）

内閣府（デジタル田園都市国家構想の実現による地方創生）

農林水産省（農泊の推進と農林水産省による支援について）

国土交通省（住教育について）



全報7-3、第12回古民家フォト甲子園開催について

本年4月より、全国の小中高生を対象とした「第12回古民家フォト甲子園」を開催致しております。

歴史的建造物を通して地域の魅力を改めて知り、観光資源として見つめ直す機会として、未来を担う学生を対象とした大会です。多くの学生の方にご参画いただけるよう、是非ご周知のほどよろしくお願いいたします。

地域の未来を担う学生に、空き家課題や古民家の魅力に気付いていただける機会としてご活用下さい。

※各支部に一定数のチラシを郵送しています。各学校含め各関係各所への周知をよろしくお願いいたします。

【事業詳細】

作品応募期間：2023年4月7日（金）から9月8日（金） ※郵送の場合は9月8日必着

審査会：2023年9月15日（金）

受賞作品発表：2023年9月20日（水）

授賞式（各地）：2023年10月中旬以降



一般社団法人全国古民家再生協会 2023年7月例会報告内容

配布資料

【作品募集テーマ】

[小学生部門] この先もずっと残していきたい建物（絵画）

[中高生部門] 海外に誇れる日本の建物と風景（写真）

古民家フォト甲子園 ホームページよりチラシをダウンロードすることが可能です。

第12回 古民家フォト甲子園

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

作品テーマ

小学生部門（絵画）：この先もずっと残していきたい建物

中高生部門（写真）：海外に誇れる日本の建物と風景

応募期間

2023年
4月7日（金）
～
9月8日（金）

作品審査 2023年09月15日（金）

授賞発表 2023年09月20日（水）

各賞

小学生部門：最優秀賞1作品・金賞1作品・銀賞1作品・銅賞1作品・審査員賞1作品

中高生部門：最優秀賞1作品・金賞1作品・銀賞1作品・銅賞1作品・審査員賞1作品

作品応募方法

①描く・撮る
テーマに沿った作品をご準備いただきます。小学生部門は絵画

②作品応募
公式ホームページより応募。小学生部門は郵送にて応募

③審査・発表
審査員にて厳選なる審査を実施し発表します。

④授賞式（各地）
所属の学校等にて授賞式を実施します。

●主催：一般社団法人全国古民家再生協会 ●共催：一般社団法人全国空き家アドバイザー協議会

●後援：各地都道府県ならびに市町村、教育委員会、一般社団法人古材リユース推進協会、一般社団法人日本伝統再築士会、一般社団法人伝統構法耐震評価機構、一般社団法人地域観光資源開発推進機構、一般社団法人住教育推進機構、全国伝統耐震診断新連合会、全国床下インスペクション協会、古材倉庫・循環型建築ネットワーク

●協賛：CyberLink ●協力：一般社団法人全国古民家再生協会所属会員企業

お問い合わせ先

一般社団法人全国古民家再生協会
第12回古民家フォト甲子園実行委員会
Mail: info@g-cpc.org
HP: http://www.kominkaphoto.com/

QRコード

公式ホームページ

全報7-4、後期入会について

全国古民家再生協会の新規入会は毎年4月・10月としており、10月（後期）入会をされる方は、入会要件を満たすようご準備をお願いしたく、各支部長ならびに既存会員の皆さまには入会予定者へのフォローアップをよろしくお願いいたします。

<事業者会員・一般会員>

- ・古民家鑑定士資格
- ・伝統再築士資格（現在スケジュール公開・受付中）

※2023年後期入会より事業者会員ならびに一般会員ともに伝統再築士資格の取得もしくはオブザープ受講（建築士資格を有さない方）が必要となりました。

入会申込書は、8月より受付を開始させていただきます。



配布資料

全報 7-5, 新規設立支部・連携協定について

下記の通り、新規支部が設立されました。

〔設立総会〕 2023年6月21日

〔支部名〕 一般社団法人全国古民家再生協会山口第一支部（山口事務局）

〔事務局〕 一般社団法人古民家再生協会山口中央

〔代表者〕 奥野 義和



新たに下記自治体と連携協定を締結しました。

〔連携協定〕 2023年6月12日

〔協定者〕 青森県田子町・一般社団法人全国古民家再生協会

一般社団法人全国空き家アドバイザー協議会青森県田子支部



配布資料

[連携協定] 2023年6月27日

[協定者] 東京都三鷹市・一般社団法人全国古民家再生協会

一般社団法人全国空き家アドバイザー協議会東京支部



全報 7-6, 訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金（観光庁）について

観光庁では、観光立国の復活に向け、長期滞在者やリピーター、高付加価値旅行者の誘客等を図り、稼げる地域・稼げる産業を目指すべく、城や社寺、古民家等の歴史的資源の高付加価値化を促進し、「目的となる宿泊施設」を地方に整備するとともに、魅力的で日本らしい歴史的な観光まちづくりの推進をおこなっており、そのためには「地域の賑わいを創る中心となる伝統的建造物」、「歴史的な町並みの調和が保たれた美しい景観」の存在が必要不可欠であると考えており、更なる高付加価値の推進を目指す一環として、「訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金（歴史的資源を活用した観光まちづくり推進事業）」募集を実施しています。

○訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金（歴史的資源を活用した観光まちづくり推進事業）2次公募開始

1. 応募受付期間

令和5年6月23日（金）～7月20日（木）17時（必着）

2. 補助対象事業者

- ・観光地域づくり法人（DMO）
- ・地方公共団体、DMO 又は民間事業者を中心に構成される地域協議会
- ・民間事業者等
- ・地方公共団体

配布資料

3. 補助率

- ・歴史的資源の宿泊等環境整備に対する支援並びに歴史的資源を活用した滞在拠点の高付加価値化支援
1 / 2 補助（上限 2,000 万円）
- ・地域の賑わいを創る歴史的建造物の改修、再建築、及び周辺環境の整備に対する支援
1 / 3 補助（上限 5,000 万円）

詳細は・・・https://www.mlit.go.jp/kankocho/page05_000264.html

全報 7-7, 例会議事録の提出徹底について

兼ねてより、毎月の例会開催ならびに開催後には必ず議事録の提出をお願いしております。議事録は例会終了後の 1 週間以内を目処に速やかにご提出ください。議事録フォーマットは当例会資料をダウンロードするページ内に設置しています。

全報 7-8, 各種スケジュールに関して

■古民家鑑定士講習・試験

全国古民家再生協会の支部長を中心に毎月もしくは 2 か月に一度、各地で定期的を開催しています。古民家に精通する人財を輩出するためにも周知にご協力ください。

開催スケジュールや詳細、お申し込みについては下記 HP よりご確認ください。

古民家鑑定士試験情報サイト → <https://www.kominkapro.org>

■伝統的構法による木造建築物状況調査技術者講習

伝木講習は、全国各地の日本伝統再築士会の支部長を中心に、2 か月に一度各地で開催しています。伝統構法に特化した調査内容を学び、伝統構法のインスペクションを実施するための資格として建築士を対象とし各地で実施しています。開催スケジュールや詳細、お申し込みについては下記 HP よりご覧ください。

一般社団法人全国古民家再生協会 → <http://www.g-cpc.org/mokuzouinspection>

■ 伝統再築士講習・試験 ※次回は 8/22 広島・8/25 福岡・9/14 大阪・9/15 新潟・9/17 東京・9/26 福島

伝統再築士講習は、全国古民家再生協会の入会条件の一つとなっている資格です。年に 2 回【前期・後期】全国 6 地域で開催しています。受験資格は、建築士資格を有する方限定ですが、建築士資格をお持ちでない方へも受講いただくことで受講証明書を発行させていただきます。（建築士資格を持たない全国古民家再生協会入会希望の方は、こちらの受講証明書が必要です。）

講習で学ぶ「再築基準」を活用した伝統構法の改修は石場建て基礎のままコンクリート基礎を新たに作ることなくフラット 35 の融資や、リフォームかし保険の付保、長期優良住宅化リフォーム推進事業補助金などの利用が可能です。伝統構法改修に携わる方や、再築基準を学びたい方に周知ください。

伝統再築士 → <https://hepa.or.jp/credential/dentousaichikushi>



配布資料

■空き家課題トータルコンサルタント講習・試験 ※サスプラと同時申込の場合は一部割引がございます。

空き家課題トータルコンサルタント講習・試験は、全国空き家アドバイザー協議会の支部長を中心に毎月もしくは2か月に一度、定期的に各地で開催しています。空き家課題の専門家として、自治体と連携しながら地域に根付いた空き家課題を根本から解決して、地域の活性化と本業の拡大につなげていただく資格です。

空き家課題トータルコンサルタント → <https://akiya-adviser.org/akiyadc>

■サステイナブルなまちづくりプランナー講習・試験 ※空き家TCと同時申込の場合は一部割引がございます。

サスプラ講習・試験は、全国空き家アドバイザー協議会の支部長を中心に毎月もしくは2か月に一度、定期的に各地で開催しています。地域の課題に着目し、これから地域で何が必要なのか？地域の課題である古民家を含む「空き家」を活かす出口戦略として、実績ある交付金の活用ノウハウを学び、空き家・古民家を活用したサステイナブルなまちづくりを設計し、負の遺産を持続可能な地域の資産にする資格です。

サステイナブルなまちづくりプランナー → <https://akiya-adviser.org/suspla>

■古材鑑定士講習試験

解体や移築される古民家の構造材を中心にインスペクションを実施し、古材買取の循環型解体や移築を推進できます。古民家鑑定士資格と古材鑑定士資格の両資格をお持ちの方は、古材鑑定×古民家鑑定×古民家移築鑑定の3つの鑑定が実施できます。各種鑑定を活かして地域の空き家課題解決！新しい移築を提案いただけます。

開催スケジュールや詳細、お申し込みについては下記HPをご覧ください。

古材鑑定士 → <https://hepa.or.jp/credential/kozaikanteishi>

■古民家床下診断士（床下インスペクション）講習試験 ※次回開催日程が決まり次第サイトへ掲載

古民家床下診断士講習・試験は年2回程度開催しています。家の基礎である床下のコンディションは、住宅寿命を左右する大切な部分です。薬剤を使う予防や駆除というアプローチでは無く、予防管理という観点で自走式床下点検ロボット等を活用しこまめに点検管理することで腐朽や蟻害の発生を抑制する【床下インスペクション】は古民家総合調査で必須の調査「古民家鑑定・伝統耐震診断・古民家床下診断」の一つであるため、より多くの地域に実施可能な資格者が必要です。開催スケジュールや詳細、お申し込みについては下記HPをご覧ください。

古民家床下診断士 → <https://kominka-yukashita.org/qualification>

配布資料

全報 7-9, メルマガサービスに関して

井上幸一がお送りするメールマガジンへの登録要請を多くいただく為、下記よりご登録を可能としました。
無料でご講読いただけますので、お気軽にご登録ください。

なお、メールアドレスにより迷惑メールフォルダ等へ振り分けられる場合があります。

不達の場合は「@inouekouichi.com」ドメインからのメールを「受信許可」下さいますよう
設定をお願いいたします。



※設定方法は、ご利用の環境によって変わります。各自ご確認をお願いいたします。（サポート対象外）

オンラインサロンでは、メルマガには書けないビジネスのことや他所は知らない自治体連携・交付金の使い方
などオンラインサロン限定でお伝えさせていただきます。毎週月曜は、ライブ配信も予定しています。



<http://lounge.inouekouichi.com>

■YouTube で事業導入者（加盟企業）を配信中

事業導入されている企業（加盟企業）と河野が毎週 Live 配信にて配信しています。その一部を YouTube で公開
しています。ぜひご覧ください。



■番組制作会社からの継続依頼（情報共有）

フジテレビ「世界の何だコレ！？ミステリー」にて「開かずの金庫」の鍵をプロの鍵師が開ける企画がありま
す。各地の支部にも直接問い合わせ等が入っているかと思いますが、もしお近くに企画に添える案件あれば支
部長へご報告いただき本会までご一報ください。レギュラー番組のため、一定期間募集しております。

※なお紹介、取材となった場合は制作会社と紹介者との責任にて進めていただきますので、よろしくお願いします。



全報 7-1 0, その他

例会の開催にあたって（注意事項）

- ・「例会は会員のみの参加」となりオブザーバーは例会へ参加いただけません。（但し、次の入会タイミングで正式入会予定者のオブザーブ参加は支部長判断で可能）詳しくはお問い合わせください。
- ・支部報告事項に入れております、事業者会員リフォーム業務報告は毎月支部にて取りまとめいただいておりますでしょうか？毎月、事業者会員の業務等を把握徹底お願いします。

メディア掲載情報

2023年6月5日 mrt 宮崎放送（一般社団法人全国古民家再生協会宮崎県連合会）



2023年6月5日 宮崎日日新聞（一般社団法人全国古民家再生協会宮崎県連合会）

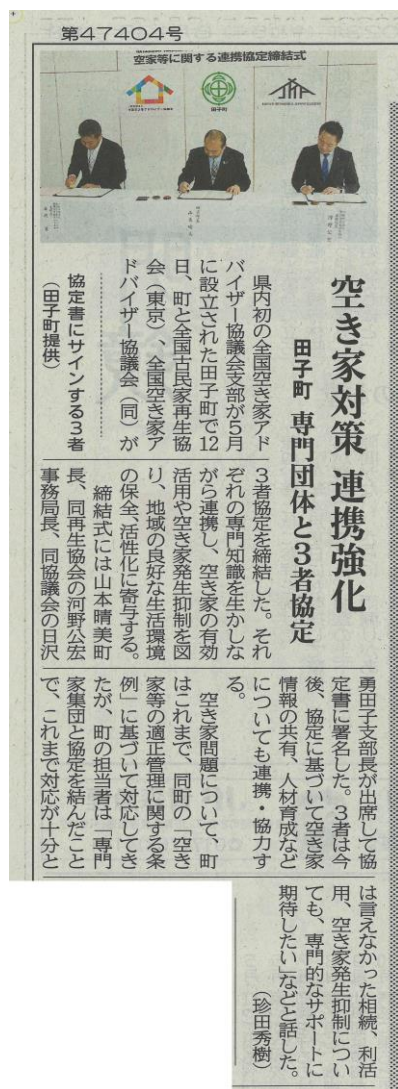


配布資料

2023年6月12日 夕刊デイリー（一般社団法人全国古民家再生協会宮崎県連合会）



2023年6月13日 東奥日報（一般社団法人全国空き家アドバイザー協議会青森県田子支部）



配布資料

2023年6月16日 公明新聞（一般社団法人全国古民家再生協会）

**空き家の活用促進
団体から政策要望
党懇話会**

公明党古民家再生議員
懇話会（会長＝赤羽一嘉
幹事長代行）は15日、参

院議員会館で、全国古民家再生協会（中村綱喜理事長）から、空き家の活用促進に向けた政策要望を受け、意見交換を行った【写真】。

協会側は、改正空き家

対策特別措置法で制定される「空き家等管理活用支援法人」に、各自治体で適切な民間団体が指定されるよう後押しを要請。また、農地付き空き家の活用促進や、古民家を活用してインバウンド（訪日客）需要の受け皿とするための予算確保を求めた。



2023年6月23日 中国新聞（一般社団法人全国古民家再生協会山口第一支部）

(21) 地域 山
2023年(令和5年)6月23日(金曜日)

山口の古民家次世代へ 再生協会第一支部市で発足

地域に残る古民家の継承に関する事業を手がける一般社団法人全国古民家再生協会（東京）の山口第一支部が山口市で発足した。同協会の支部は全国で73支部目。県内では唯一となる。

21日に同市のKDDI維新ホールで設立総会があった。同協会の河野公宏事務局長(40)や県外支部の関係者たちが出席。一般社団法人古民家再生協会山口

中央(山口市)の理事長で古民家鑑定士の奥野義和さん(69)が支部長に就任した。

同支部は、1950年の建築基準法制定前に建てられた古民家が県内に約1万3千棟あると推測する。今後、古民家鑑定士の育成や古民家を活用したまちづくりを進める。

奥野支部長は「地域のためにも、山口の古民家を次世代に残していきたい。支部の会員も募っていく」と話している。(藤田龍治)

山口第一支部の設立総会であいさつする奥野支部長(左から3人目)



2023年(令和5年)6月26日 月曜日 県内総合 (2)

月曜インタビュー

山口市の奥野工務店代表取締役、奥野義和さんが、全国古民家再生協会山口第一支部を立ち上げた。全国3都府県の支部で、県内では唯一となる。同支部は、県内に約1万6000棟ある古民家について、相談に応じて鑑定を実施し、ながいきに次世代へ受け継ぐ活動を推進する。県内に多くある空き家の課題にも向き合い、解決に向けた取り組みも模索する。『古いから壊そう』ではない、『いじめるは残そう』という考え方が大事。今後は同志となる支部員も募りながら、古民家継承を進めるつもりだ。

(山口支社・奥野義和さん)

日本の伝統家屋残そう

動とは、われている木材がなくて、古民家を残すのが難しい。でも古民家を残す取り組みが進められれば、山口市の古民家再生協会は古民家再生協会の制度を設けて、古民家を残すための活動を進めたい。

奥野義和さん

山口市内の古民家の状況は、県内には約1万6000棟の空き家がある。このうち10分の1は約1万600棟が古民家と推定される。古民家の再生に加え、地域の課題にもなっている空き家対策についても考えたい。そのためにもこれから支部員を増やし、さまざまな相談に応じられる体制を強化したい。

今後の展望は、古民家再生士を育てるためのインストラクターの資格を持っている。古民家再生士の講座を受ける中で、今の建築士が教わっていないこともたくさんあると思う。古民家を学ぶことで日本古来の建物の素養が深まる。古民家を愛し、残そうという同志、古民家再生士を増やし、将来を担う子どもたちのために古民家を残す取り組みが進められれば。

〈おくの・よしかず〉 今月21日、古民家を後世に継承することを目的とした「全国古民家再生協会」の山口第一支部を立ち上げ、支部長に就いた。山口市の奥野工務店代表取締役。山口南ロータリークラブではクラブ長期戦略委員長を務める。趣味はゴルフ。モットーは「怒らない 悲れない 悲しまない」(中村天風)。同市吉敷上東。69歳。